



梅雨入り後は病害の感染拡大に好適な高温・多湿状態が続いています。特に梅雨最盛期の散布が遅れると、輪紋病・黒斑病等果実腐敗性病害が感染拡大します。梅雨明けまでは散布間隔を一定に保ち、降雨前の予防散布を徹底してください。

◆ **西洋梨**の薬剤散布（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

☆ 7 月上中旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7 月 5 日～10 日	◆ 散布日：7 月 日
散布薬剤	水 1 0 0 0 当り 展着剤 1 0 mℓ ナリアWDG 5 0 g （前日、3 回） *注意事項③参照 サイアノックス水和剤 1 0 0 g （7 日前、3 回）	◆ 散布量： リットル
対象病虫害	輪紋病、ハマキムシ類、シンクイムシ類	
散布量	10 アール当り：600 リットル以上	
注意事項	① 輪紋病の発生が心配される場合は、オキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）を 6 月末に特別散布する。有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内とする。 ② ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。 ③ 毎年、輪紋病の発生が多い園は、ナリア WDG に代えて、IC ボルドー412 の 30 倍（100 リットルに 3.3 kg）でもよい。ただし、他品目への飛散に十分注意する。 ④ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。葉やけの起きやすい条件は、①薬剤散布直後の降雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。	

（参考）
西洋梨有袋 7 月下旬の薬剤散布予定：7/25～30（前回より 20 日後）

◆ **西洋梨 6 月末～7 月中旬の重点作業** *必ずお読みください。

- ① 仕上げ摘果・袋掛け：果実肥大促進・輪紋病感染回避のため、6 月 30 日までに袋掛け作業を完了してください。（7 月上旬に支部別園地点検を実施します）
- ② 土壌水分管理（土壌水分の激変を緩和）
 - 極度の土壌の乾燥は果実肥大に大きく影響します。梅雨明け後に雨が少ない場合は、定期的にかん水を行ってください。
 - 梅雨明け後に急激に土壌乾燥する可能性があるので、樹冠下に敷きワラ等のマルチを行ってください。
- ③ 雑草管理：梅雨期間に雑草が伸びてきています。害虫の発生源となりますので、園内除草を徹底してください。
 - 除草剤使用基準：バスタ液剤（水 100ℓ 当りバスタ液剤 500mℓ）

和梨の薬剤散布は裏面をご覧ください。

◆ **和梨**の薬剤散布（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

【有袋】7月上旬の薬剤散布（前回より15日後）

散布時期	7月5日～10日　＊注意事項①参照			◆ 散布日：7月　日
				◆ 散布量：　リットル
散布薬剤	水	100	リットル	
	展着剤	20	ml	
	ナリアWDG	50	g（前日、3回）	＊注意事項②参照
	スミチオン水和剤40	100	g（14日前、6回）	
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、ナシヒメシンクイ、カメムシ類、クワコナカイガラムシ			
散布量	10a 当り：450以上			
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して行うこと。			
	② ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。			
	③ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。			

（参考）和梨有袋7月下旬の薬剤散布予定：7/20～25

【無袋】6月末の薬剤散布（前回より10日後）

散布時期	6月25日～30日　＊注意事項①参照			◆ 散布日：6月　日
				◆ 散布量：　リットル
散布薬剤	水	100	リットル	
	展着剤	20	ml	
	ナリアWDG	50	g（前日、3回）	＊注意事項②参照
	スミチオン水和剤40	100	g（14日前、6回）	
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、ナシヒメシンクイ、カメムシ類、クワコナカイガラムシ			
散布量	10a 当り：450以上			
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して行うこと。			
	② ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。			
	③ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。			

【無袋】7月上旬の薬剤散布（前回より10日後）

散布時期	7月5日～10日　＊注意事項①参照			◆ 散布日：7月　日
				◆ 散布量：　リットル
散布薬剤	水	100	リットル	
	展着剤	20	ml	＊注意事項②参照
	ベルクトフロアブル	66	ml（14日前、5回）	
	劇オリオン水和剤40	100	g（3日前、2回）	＊注意事項③参照
対象病害虫	黒斑病、輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、ケムシ類			
散布量	10a 当り：450以上			
注意事項	① 前回散布が遅れた場合は、今回の散布を前倒して行うこと。			
	② 黒斑病の発生園は、ロブラール水和剤1,500倍（14日前、5回）を加用する。			
	③ オリオン水和剤40は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。			
	④ 通常展着剤（ハイテンパワー等）に代えて、固着性展着剤のアビオンEの1,000倍（100当り100ml）を使用すると、薬液付着効果が高まる。			

（参考）和梨無袋7月下旬の薬剤散布予定：7/20～25